

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日		～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応のため、1人ひとりに合わせたプログラムを設定することができる。	療育開始の前に体験利用を行い、より深くお子さんの特性を捉えてから実際の支援を行っている。	お子さんの特性をより深く捉えるために評価、アセスメントをしっかりと行い、お子さん自身が楽しみながらさまざまなスキルが伸びるように支援を組み立てていく。
2	親子通所のため、保護者とお子さんの特性や支援のねらい、内容を共有することができる。	保護者に積極的に療育に参加してもらうことにより、具体的にお子さんとの関わり方を伝えている。	面談の機会等を設けながら保護者とのコミュニケーションを密にし、ニーズを細やかに拾い上げ、共有しながら療育を進められるようにする。
3	多職種で連携することにより、多面的にお子さんの特性を捉えて支援に反映できる。	事例検討を通して様々な専門職の職員が意見する場を設け、支援内容に反映している。	内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行い、専門職の知識をより深められるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育のため、集団の場への介入が難しいケースがある	個別療育では子ども同士の関わりがないため、他者の気持ちを考える力が育ちにくいと感じる。	個別療育では子どもの特性をしっかりと把握し、それを解決するための構造化を考える。それをどう集団の場で活かせるかを、関係機関と一緒に考えていく。
2	親子通所のため、保護者の就労や都合に負担をかけてしまう	なないろでは、「保護者のわが子への理解力、養育力の向上」を目的に親子通所をお願いしているが、就労や家族の都合等のさまざまな理由でそれがむずかしい家庭もある。	出来る限り無理なく療育に通っていただけるよう、振替日の設定や代理による療育の実施を行っている。
3	療育の効果がどれほど表れているかが見えにくい	「以前に比べてよくなった」という感覚的な指標で療育の効果を図っている場面がある。その効果をまとめたものは個別支援計画のみである。	個別支援計画の作成、定期的な『子育てファイルふくいっ子基礎調査票』の実施に加え、ABAや氷山モデルで対応するケースは介入前に記録を取り、期限を決めながら関わり、その効果を定期的に判定できるよう整えていく。

公表

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室					公表日	令和8年3月18日	
			利用児童数	40	回収数	21		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1	0	1		・法に基づいたスペースの確保、職員数の配置を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2	0	0		・3つの療育エリアとプレイルームがあり、一人ひとりに合わせて構造化を行うなど、お子さんの特性に応じた環境を整えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	0	0		・療育エリアごとに区切りはありませんが、消防法の観点から完全に個室にすることはできず、声や物音などで不慣れな思いをさせてしまい申し訳ありません。別室確保や支援内容の工夫などにより、少しでも解消されるよう努めて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19	2	0	0	・静かな個室にさせていただき非常に改善されたが、空調の重低音が大きく不快で気になる。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	3	0	1		・療育の担当者が、それぞれのお子さんの特性や本人、保護者のニーズに合わせて個別支援計画を作成し、それに基づいた療育を実施しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2	0	0		・放課後等デイサービスガイドラインに基づき、個別支援計画を作成しています。個別支援計画において、「本人支援」「家族支援」「地域連携」の記載がありますので、一度ご確認ください。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2	0	1		・個別療育における活動プログラムは、一人ひとりの状況に応じて変動させたり固定させたりしています。好きな活動や興味のある内容を取り入れるなど、楽しんで取り組めるような工夫も実施しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	1		・毎月第3土曜日に地域の子どもたちが集まる居場所づくりを行っています。様々な場面でのお子さんの支援に取り組んでまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	4	5	・参加はしたことはありませんが「Link」があると聞いています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	1		・運営規定、利用者負担等については契約時にご説明させていただいています。支援プログラムにつきましては、ホームページには記載していますが、説明はしていませんでした。今後は丁寧に説明させていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2	0	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	3	0	0	・本人の前では言えない年齢なので、伝えることが難しい。連絡帳があると良い。毎度の返信は不要。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2	1	0		・連絡帳の記入につきまして、ご要望にお応えできない場合があり、大変申し訳ございません。記入について療育時間中に対応できない場合は、口頭でお伝えする、後日お伝えするなどの対応をさせていただきますので、何なりとお申し付けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	2	0	0		・家族支援について、現在のこと、先のことを保護者の方の思いに寄り添いながら対応させていただきます。どのような悩みや不安でも、お気軽にお申し付けいただけたら幸いです。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	3	1		・2か月に1回のペースで、土曜日の午前中に『なないろカフェ』を開催しており

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	4	0	0		ます。告知が分かりにくいとの声もあったので、開催日前に周知できる仕組みづくりを進めてまいります。 ・情報発信は専門支援教室の玄関に加え、ホームページやInstagramでも発信しています。ぜひご覧ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	3	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	3	0	4		・個人情報連携は承諾いただいた機関とは共有させていただいていますが、それ以外との連携においては保護者の方からの許可をいただいてから共有しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3	1	1	・マニュアル等があることは知っているが、訓練はしたことがない。	・各種マニュアルは入口の下足箱にファイリングしてあります。法に基づいて訓練も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	4	2	3		・職員は、年2回のアルプラザ合同避難訓練に参加しています。個別療育のため、利用児に対して避難訓練は全員には実施していませんが、療育に災害対応の内容を盛り込む、玄関での避難の心得の啓発を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	3	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2	0	3		・事故発生時には、マニュアルに基づいて速やかに対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	0		・なないろでの支援についてさまざまなご意見をいただき、まことにありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	0	・友達と遊ぶ約束ができないことが不満は素敵なことだと思います。なないろに来た際にも「楽しかった」と感じてもらえるよう、内容を工夫していきます。	・遊ぶ約束をする友達がいることがまずは素敵なことだと思います。なないろに来た際にも「楽しかった」と感じてもらえるよう、内容を工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	4	0	0	・内容には満足しているが親同伴のため、仕事に支障となり回数が増やせない。	・各家庭のご事情に応じて、相談支援専門員と連携しながら適切な支援と一緒に考えさせていただきます。

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名	越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室			公表日	令和8年3月18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・空きスペースを有効活用しつつ、過ごしやすい環境を設定できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・子ども1人に対して、職員が必ず1人配置されている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・視覚支援が様々な場所にある ・活動場所ごとに壁が仕切られている ・段差が少なく広々としている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・全ての療育終了後に毎日掃除をしている ・子どもに合った机やイスを使用している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・遊びたい場所で遊べるように、危険物がないう安全面の徹底	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・支援計画のチェック、事例検討、ミーティングでの相談	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・法に基づいて実施している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・事例検討や夕方ミーティングでの共有 ・氷山モデルを使用して支援方法の見直し、提案を行っている	・なないろでは第三者評価は実施していません。このご利用者様からの『事業所評価』や、普段いただくご指摘やご意見を業務改善に繋げています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	・第三者による外部評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・内部勉強会を毎月実施している ・外部研修は計画のもと、は各々が参加している	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・なないろHPIにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・子どもと保護者の気持ちをすり合わせ、双方のニーズが反映されるように作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・全職員で共有し、意見を出し合っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		・個別療育のため、活動プログラムの立案は基本的に担当職員が行っています。定期的に相談やミーティング等を行う中で、多職種で連携をしながら支援内容を考えていく場面も多くあります。活動プログラムにご意見やご質問がありましたら、どうぞお気軽にお申し付けください。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・子育てファイルふくいっ子の基礎調査票によるフォーマルなアセスメントや、日々の療育中のアセスメントにより、状況の把握を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・「本人支援」「家族支援」「地域連携」の各項目でねらい、支援内容を設定しながら支援を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	・ガイドラインをふまえながら目標を設定し、支援内容の構築を図っている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	・多職種の意見を貰う中で、プログラム自体の難易度のつけ方も相談している	<p>・療育時には毎回観察や行動分析によるアセスメントを実施し、活動プログラムに取り入れています。障害特性を踏まえ、大きな流れは変えずに課題を変更するなど、子どもがパニックにならずに活動を進めることができるようにしているケースもあります。疑問のある方は、どうぞお気軽にお申し付けください。</p> <p>・支援終了後には打合せを行っているが、共有が弱いと感じることがあります。しっかりと振り返りの時間を確保しながら実施していきます。</p>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・本人が楽しんで成功体験ができ、かつ様々な経験ができるように組み立てている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・ミーティングで共有	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・毎日、業務終了時にその日の振り返りを行い、良かった点や悪かった点を確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・毎回、療育終了後に振り返りの記録をつけ、それをもとに半年ごとの計画の見直しを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2	・『つながり倶楽部Link』などにおいて、療育の枠を超えて子ども同士が関わる機会を提供している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・理解面と表出面を大事に考えた支援内容を工夫している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・療育担当者が参画し、子どもの状況をアセスメントに基づきながら評価し、外部へ伝えている	<p>・学校との情報共有は学校によってばらつきがあり、まだまだ丁寧に行っていないケースが多いです。関係づくりを進め、もっと密に学校の様子を聞ける体制を整えていきたいと思えます。</p> <p>・現在、児童館等と一緒に活動するなどのことは行っておりません。保育所等訪問支援や療育の場を見学してもらったりなど、児童センターの職員の方たちとの連携は今後も続けて行ってまいります。</p>
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・移行する事業所との間で、療育の場面を実際に見ていただく、情報の共有を行うなどの連携を図っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・児童発達支援管理責任者と相談支援専門員が積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・家での困りごとや今の課題について保護者と話す機会がある	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・なないろ便りにて情報を発信している		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・時間を設けて行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・療育中にお話を聞いている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・説明を行い、追加点などを聞き反映し、同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・必要に応じて療育外で時間を設け相談対応を行っている	・「利用者からの声は事業所の質を上げるための最も大事なもの」と考え、真摯に受け止めつつ改善に努めております。少しでも不審な点や疑問がございましたら、何なりとお申し付けください。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	・隔月で『なないろカフェ』を実施している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・毎月『なないろだより』を作成し、廊下とHPへの掲示を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報は同意書に記載されている機関とのみ共有している。また、個人ファイルは鍵付きの書庫にて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・障害ではないが言語の違いに対して資料を翻訳しながら対応している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	・事業によっては窓口を広くし、参加できるようにしている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・各種マニュアルや指針、計画を策定し、療育室入り口にいつでもだれでも閲覧が可能な状態にしてある	・各種マニュアルを設定し、玄関にいつでも閲覧可能な状態で置いてあります。マニュアルの内容について、職員の周知は万全とは言えないので、定期的な確認を実施していきたいと思います。 ・非常災害時の訓練につきましては、複合施設に設置した事業所であるため、他入居団体等と連携した訓練、事業所内での訓練(職員のみ、利用者と一緒に)を引き続き実施していきます。また、非常時にとるべき行動と避難経路につきましては、療育内での定期的な説明等を実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時や療育中に詳しく保護者にお聞きする	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・保護者にも確認しながら、おやつを提供を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・月1回の安全点検を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ミーティングで共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・年に数回の虐待防止研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			